

Stand UP!!!! NO.17

2017年11月6日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

2017年末手当 第3回交渉

中央本部は11月6日に「2017年末手当第3回交渉」を行いました。

要求の根拠

- ①昨年度の経常利益は過去最高の88億円、鉄道事業部門は初の黒字、今年度中間決算は経常利益38億円と過去最高となった。
- ②過去最高だった昨年度の決算にも関わらず夏季手当は1.6カ月の低額回答となり、組合員は失望している。努力に報いるのは会社の責任である。
- ③職場は慢性的な要員不足の中でも100%以上の力で業務を遂行しているが、貨物会社に失望し退職する若手が後を絶たない。
- ④経営陣は組合員のモチベーション向上の為に具体的な策を講じるべきであり、誠意を持った姿勢で満額回答を示すこと。

対して会社は

退職していく人がいる事は残念に思っているし、認識もしている。要因も分からないわけでは無い。モチベーションの向上は手当だけではないと考えている。組合の主張は受け止め、第4回交渉で会社としての考えを示す。

「退職を考えている人に対して、『この会社で頑張っていこう』と自信をもって止める事ができない」という、青年部員の悩みに対して経営陣は恥ずかしくないのか!!

全員の闘いで満額取りにいこう!!